



玉島っ子だより

第17号 令和2年11月2日

文責 校長 井原 竹始

【学校教育目標】 たくましく まごころいっぱい しっかり考え まなびあう子どもの育成

あゆっ子タイム(10月26日)



10月26日の朝の時間に、あゆっ子タイムを行いました。縦割り班ごとの遊びです。各班の6年生が1～6年生全員が楽しめる遊びを考え、広い運動場で、思いっきり遊んでいました。普段から学年関係なく、サッカーなどをして遊んでいる玉島っ子ですが、定期的にあゆっ子タイムがあることで、6年生のリーダーシップも発揮でき、班のメンバーの仲も一層深まっているようです。

にこにこ集会(10月28日)



10月28日に、人権擁護委員の方を招いてにこにこ集会(人権教室)を行いました。「なかまについて考えてみよう」という題材で、「仲間と気持ちを伝えあう」ことについて考えました。昨年度の仲間について話し合ったこと(どんな仲間がいるか、どんな関係を仲間と言うか)を振り返り、いろいろな仲間と、気持ちを伝え合うことが大切であることを確認しました。

今年度は、浜玉町には5人の聴覚障がい者が生活してあることを教えてもらい、その人たちとも手話ができなくても、伝えあえる方法はないか考えました。班の代表の人に、出されたカードの内容(いちご、大好きなど)を、身振り手振り(ジェスチャー)で伝えるゲームを行いました。子供たちは、どのような動きで伝えればよいのかを一生懸命に考えながら伝えていました。代表の人も、動きから一生懸命に推測しながら答えを導いていました。

「伝えたい」「分かってもらいたい」という思いをもつこと、「知りたい」「分かってほしい」という思いをもつことが、互いの気持ちが通じ合うことになることに気付いていました。互いが相手のことを思う「思いやり」が大切であること学んだようです。

また、各班で、「なかまの歌」に入る気持ちを表す歌詞を考え、披露しました。「ありがとう」の言葉が多かったようです。「わたしがあなたにありがとうとつたえると、あなたがわたしにありがとうとこたえる。……わたしはもうひとりのあなた あなたはもうひとりのわたし わたしとあなたはもうひとりのだれか」気持ちを表す歌詞を入れながら「なかまの歌」を歌い、温かい雰囲気の中で学習を終えました。